

# 受賞者「近鉄グループホールディングス株式会社」

## ＜鉄道事業者による総合生活ビジネスを通じた環境への取り組み＞

「あべのハルカス」では、高層ビルでは日本で初めての試みとなる、生ゴミを利用したバイオガス発電などの省CO<sub>2</sub>に取り組み、一般的なビルと比べ年間CO<sub>2</sub>排出量を25%、約5,000トン減らすことに成功するとともに、「大阪阿部野橋駅」では電力使用量の約21%削減を達成するなど、環境に配慮した鉄道駅・ターミナルの整備を行った。また、沿線地域でのCO<sub>2</sub>削減や情報開示にも積極的に取り組んでおり、各所から表彰・評価を受けている。

### 1. 大阪阿部野橋駅の取り組み

照明のLED化、冷凍機更新、空調インバータ化等の省エネ設備導入を実施し、年間電力使用量を21%削減しました。

(年間電力使用量)

(H25) 471万kWh → (H26) 372万kWh

#### ① 駅照明 約3000台のほぼ全てをLED化

(更新前) 113kW → (更新後) 42kW (▲63%)

削減電力量 (年間) 51万kWh (▲288tCO<sub>2</sub>)

#### ② ターボ冷凍機2台を更新

(更新前) 117万kWh → (更新後) 79万kWh

削減電力量 (年間) 38万kWh (▲215tCO<sub>2</sub>)

#### ③ 空調機4台のインバータ化を実施

(更新前) 33万kWh → (更新後) 27万kWh

削減電力量 (年間) 6万kWh (▲31tCO<sub>2</sub>)

#### ④ トイレを全て節水型にし、水使用量を半減

(更新前) 13千m<sup>3</sup> → (更新後) 6千m<sup>3</sup>

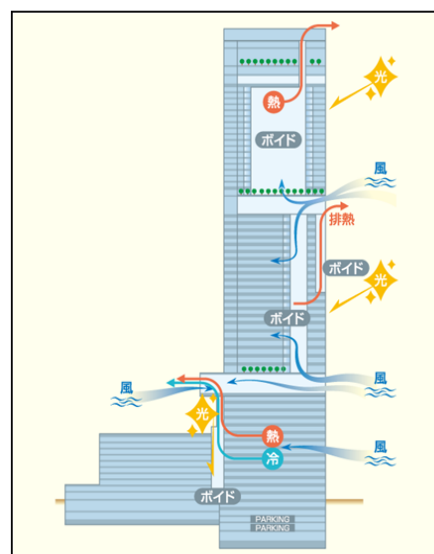


### 2. あべのハルカスの取り組み

自然の風や光を利用する「ボイド(吹き抜け)」による快適性の向上と省エネ、ビル内の生ゴミを利用するバイオガス発電、屋上庭園、雨水再利用など、高い環境性能を誇り、一般的なビルと比べて25%・年間5000トンのCO<sub>2</sub>を削減。CASBEE大阪(大阪市建築物総合環境評価制度)のSランクを達成しました。



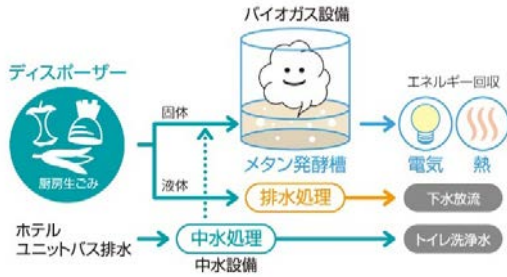
#### ① ボイド(吹き抜け)



自然光や外気をビル内に取り入れることで、照明や空調の電力量を削減します。

## ② バイオガス発電

ビル内で発生する生ゴミを処理して、バイオガスを発生させて熱や電気を作り、ゴミ収集や焼却で発生するCO2を削減します。



## ③ 屋上庭園

屋上庭園に降った雨水やホテル排水を再利用することで、年間28万トンの節水になります。



## ④ 再生可能エネルギー

環境意識啓発のため、太陽光発電、風力発電、落水発電を実施しています。



## 3. 沿線でのCO2削減・情報開示の取り組み

全ての車内照明にLEDを使用した観光特急「しまかぜ」、環境に配慮した住宅の分譲や、伊勢志摩での干潟再生事業、CO2削減の取り組みを世界的に調査する「CDP」への回答、環境・社会・ガバナンス情報の開示、メガソーラー事業など多岐に渡る取り組みを進めています。



### 近鉄グループホールディングス株式会社



近鉄グループホールディングス株式会社  
取締役社長 吉田 昌功

〒543-8585  
大阪市天王寺区上本町 6-1-55  
電話 06-6775-3357  
<http://www.kintetsu-g-hd.co.jp/>

### 近鉄グループホールディングス 環境方針

地球環境の保全是人類が共同して取り組むべき重要課題であるとの認識のもと、環境にやさしい企業運営を目指します。